

地域のたから 自慢の逸品

「宮城の米」 ● 仙台市博物館 市史編さん室長 菅野正道

稲刈り後の風景

新米が美味しい季節です。今年は豊作でしたが、米の消費量減少を受けて、米価が大きく下がってしまい、生産者にとっては複雑な実りの秋となってしまいました。

かつて、刈り取られた稲は、しばらくの間、田で乾燥した後に脱穀をしていました。刈り取られた稲が干されている風景は、秋の風物詩となっていました。

仙台近辺でよく見られた干し方は、「ハセガケ」です。長く横に渡した棒に稲をかける方法で、乾燥も早いのですが、多くの木材を必要としました。そのため、木材が調達しにくい平野部では、稲刈り後の田に突き刺し



仙台市南小泉（現、若林区）の稲刈り風景。刈り取られた稲が乾燥のために束立てされている。昭和28（1953）年10月撮影 仙台市博物館所蔵

た杭の周りに稲を重ねる「棒ガケ」や、稲刈り後の田に稲を斜めに立てかける「束立て」という方法が用いられていました。

このようにして時間をかけて自然乾燥させた米は、現在一般に行われる機械を用いた乾燥よりも味の面で勝ると言われています。しかし、コストの問題や、時間がかかることから、自然乾燥は、非常に少なくなっています。

米の低品質化

現在、宮城県産の米はその品質の高さで知られていますが、それは決して古い事ではありませんでした。

明治維新後、江戸時代の年貢制度が崩壊すると、米の品質の低下が全国的に起こります。それまで、年貢として納められる米は十分な乾燥と選別を経たものが要求されましたが、明治時代になると米の流通が自由になり、乾燥や選別が不十分な米が一齐に出回るようになったのです。悪質な場合、米に小石や雑穀を紛れさせたり、出荷前の米に水をかけるといふ手口も行われました。乾燥が不十分だったり、水をかけられた米は、十分に乾燥した米よりも重く、米粒が膨らむため、量が稼げるのです。しかし、こうした米はいたみやすく、梅雨時や夏場になるとカビが生えたり、腐ったりすることもしばしばでした。明治時代初期、全国的な傾向と軌を一にするように、宮城県から東京方面へ出荷される米も低品質なものとなり、明治十（一八七七）

年頃には、東京の市場で格付けが最下位になったほどでした。

ササニシキへの道

江戸時代、仙台藩領では新田開発が盛んに行われ、そこで生産された米が大量に江戸に運ばれました。その量は、年平均十五万石から二十万石（約三万トン）に達しました。

江戸で一年間に消費される米の量は三百万石以上で、うち市場で取り引きされるのは半分程度と推定されます。したがって、江戸市場における仙台米のシェアは一割前後に及び、銘柄としては最大のシェアを誇ったのです（江戸市場の三分の一を占めたという説もあります）。しかし、これは過大評価です。しかし、当時の仙台米は、品質面では決して高く評価されていたわけではなく、中等以下の安い米だったようです。

明治初期の品質低下は、さらに仙台米の評価を落としたが、こうした状況を打開すべく、県を中心として、米の収穫量増大とともに、品質改善への取り組みが熱心に行われるようになりました。出荷する米の検査を強化し、選別の徹底を促し、米を十分に乾燥させるためのハセガケも奨励されました。官民あがての取り組みが次第に功を奏し、また大正時代になると早稲種で味も良い品種の「亀の尾」が普及したこともあり、宮城県産の米の評価は全国的に次第に高まってきました。

さらに第二次世界大戦後、「亀の尾」の「孫」にあたるササシグレ、そしてササシグレの「子」になるササニシキと食味の良い品種を作りだし、普及に成功した宮城県は、一躍、全国トップクラスの品質を誇る米の産地となり、現在に至るのです。

仙台市内の歴史系ミュージアムを巡ろう！ 歴ネットクイズラリー開催中！

2014.9/1～2015.1/31

歴ネット（仙台歴史ミュージアムネットワーク）参加8館で実施されているクイズに答えると、プレゼントが買えます。

- ▶4館以上達成：歴ネット★クリアファイル
- ▶7館以上達成：歴ネット★オリジナルグッズセット

歴ネット参加館  
 地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／仙台市博物館／仙台北見閣／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館  
 ※仙台市博物館は11月30日まで

■仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)クロスイベント■

『仙台市史』編さん事業機関誌

市史せんだい

最新刊Vol.24 好評発売中!



『市史せんだい』は、郷土の身近な話題を取り上げた論文や歴史資料の紹介、新たに発見された伊達政宗文書の紹介など、見どころ満載です。最新刊では、仙台の近代史を新たな切り口でとらえた論考を複数収録したほか、史料紹介も充実しています。

〈Vol.24収録内容〉 明治初期における視覚障害者の生業獲得のための取り組み／戦前の国内旅行ブームと郷土玩具との関わり／大正期の陸軍特別大演習の地域への影響／在郷屋敷についての分析／史料紹介「入生田家之故実」／史料紹介「伊達政宗文書・補遺(Ⅷ)」 ほか

- ◆A5判 128頁 500円(税込) ※既刊も一律500円にて発売中です。(Vol.1～8、21は完売)
- ◆お求めは… 仙台市博物館2階ミュージアムショップ